

らくらく



題字：山田多津夫さん

発行所 社会福祉法人 京都府社会福祉事業団 洛南寮
 住所 〒610-0343
 京都府京田辺市大住仲ノ谷 14-1
 TEL 0774-62-0415 FAX 0774-62-6900
[http:// www.ksj.or.jp/sisetu/rakunan/index.html](http://www.ksj.or.jp/sisetu/rakunan/index.html)
 発行責任者 施設長 伊藤 勝敏
 発行年月日 平成29年4月吉日



施設長のご挨拶

洛南寮 寮長
伊藤 勝敏

皆様方におかれましては、平素より京都府社会福祉事業団洛南寮の事業運営に対してご理解とご支援を賜り心より感謝申し上げます。

さて、今年度は新規採用職員9名、法人内他施設からの異動職員2名を迎えました。さらに役付職員も新体制となりフレッシュな洛南寮がスタートしたところです。

また、利用者の皆様の安心・安全な生活と自立を目指す運営方針に変わりはありませんが、今年度は新たな取り組みも始まっています。

養護老人ホームにおける介護の充実を図る体制整備（特定施設入居者生活介護の類型変更）と救護施設における地域生活移行を支援する居宅生活訓練事業です

生活や福祉的課題のある方たちへの支援、地域のセーフティネットとしての機能・役割・使命に変わりはありませんが、職員一同、法人基本理念及び平成29年度の洛南寮運営方針を肝に銘じながら、利用者支援に尽力して参りたいと思います。

今年度も、利用者の皆様の人権を尊重した健康的な活気ある施設運営を行っていきます。どうぞよろしくお願いたします。



◇ 基本理念 ◇

- 1 社会福祉施設としての公的責任を果たす施設であること
- 2 利用者の権利を擁護し、利用者本位の利用者には選ばれる施設であること
- 3 地域福祉の向上のため、地域との連携を図り、地域から信頼され、地域に開かれた施設であること
- 4 主体性のある法人・施設をめざすこと

養護老人ホーム

地域で生活するうえで様々な生活課題や福祉課題を抱える高齢者一人ひとりの人権を尊重し、心身ともに健康で安心できる暮らしの提供と、自立した日常生活が営めるよう支援するとともに高齢者の社会復帰の促進を図る。

一方、養護老人ホームに入所する利用者においても、重度の要介護者が増えており、今後も介護サービスが必要となる利用者の増加が見込まれることから、外部サービス利用型特定施設入居者生活介護から、一般型特定施設入居者生活介護に類型変更し、より適切なサービス提供に努める。

また、利用者の人権擁護、虐待防止及び接遇力向上を重視しつつ、介護や認知症などに関する専門知識や技術の向上を図る研修実施・参加や OJT による職員の資質向上に努める。

そして、関係機関・団体等に対する利用要請や適宜の情報提供を通して、施設の認知度を高めることで定員充足につなげる。

さらに、高齢者が DV・虐待被害を受けた際や一時的に在宅生活が困難になった場合の緊急一時入所等の迅速な対応や、退所された方に対する相談支援等のアフターケアを行うなど地域での生活を支援するとともに、地域の諸行事への参加やボランティア等地域住民を積極的に招き、開かれた施設、地域から信頼され選ばれる施設づくりをめざす。



救護施設

生活困窮者をはじめ、地域で生活する上で様々な生活課題や福祉課題を抱える利用者が、心身ともに健康で安心した暮らしができるよう、一人ひとりの人権を尊重し、地域社会での自立をめざすよう支援や訓練を行う。

また、利用者の人権擁護、虐待防止及び接遇力向上を重視しつつ、精神障害や身体障害などに関する専門知識や技術の向上を図る研修実施・参加や OJT による職員の資質向上に努める。

そして、関係機関・団体等に対する利用要請や適宜の情報提供、地域の相談支援ネットワークの構築・参画により地域貢献を図るとともに、施設の認知度を高めることで定員充足につなげる。

さらに、地域における生活困窮者や精神疾患を有する方、DV・虐待被害を受けている方の緊急入所の積極的な受け入れや、循環型セーフティネット施設として、利用者の地域生活移行を目的とする居宅生活訓練事業の新規実施、地域移行や他法施設等への移行、退所された方への相談支援等アフターケアなどに取り組む。



年間行事予定



4月	全体座談会
5月	菖蒲湯 草刈ボランティア
6月	レントゲン検査
7月	洛南寮祭り 紙漉体験教室
8月	盂蘭盆法要
9月	祝い膳 敬老のつどい 地域交歓会
10月	家族交流会(救護)
11月	インフルエンザ予防接種 施設見学会
12月	クリスマス会(救護) 年忘れ会(養護)
1月	初釜会 新春ゲーム大会(養護)
2月	すき焼きパーティ ボランティア交流会
3月	消防避難訓練

異動・退職者の報告

三月末で異動・退職された職員の方々です。ありがとうございました。

総務課

上田 昭二 次長

救護課

高橋 孝一 生活支援員(異動・養護老人ホーム)

養護課

木村 絵美 生活支援員

野口比佐代 生活支援員



新任職員の紹介

四月よりお世話になる職員の方々をご紹介します。

総務課

奥野 博昭 次長

救護課

長田 剛 生活支援員(桃山学園)

岡島 由乃 生活支援員

養護課

高橋 孝一 生活支援員 (洛南寮・救護施設)

齋藤ひろみ 生活支援員 (桃山学園)

田森 昌代 生活支援員

枘田 夏子 生活支援員

堀本ちより 生活支援員

小西 由美 看護師



ボランティア交流会がありました



2月4日(土)に、洛南寮ボランティア交流会を開催いたしました。

ボランティアの皆様からは、日頃の活動で感じておられた貴重な意見を頂くとともに、事業団のホームページに掲載しているブログを見て頂いたり、利用者の皆様と同じ食事を試食して頂きました。

これからも未長く、洛南寮で活動をして頂くことはもちろんのこと、風通しの良い施設となるようご助言を賜りますようお願い致します。



すき焼きパーティがありました

2月23日 すき焼きパーティがありました。



養護課、救護課共に、利用者様はこの日をまだかまだかと楽しみにされていました。

おいしい料理を目の前にして、できあがるのを待っている方や待てず料理の手伝いをしてくださる方もいました。皆で鍋を囲み…中にはお酒を召し上がる方もいて、和気あいあいととても和やかなムードでおいしくいただきました!

あっという間に、すき焼き鍋の中はからっぽに・・・。

職員が、お鍋にお肉や野菜や麩を入れても入れても、追いつかないくらいパクパク♪

ボランティアの方々にもご協力いただき、楽しく催すことができました!



編集後記

新緑の候、気が付けば桜の季節も過ぎてつつじが美しく咲く頃となりました。今回は新しく動き始めた今年度の洛南寮の様子を皆様にお届けしました。この『洛楽』が皆様と洛南寮をつなぐ架け橋となるよう、紙面を充実させて行きたいと思っております。

本年度もよろしくお願いいたします。